



NEWS Letter



日本ボート協会パラローイング委員会発刊のニュースレター。2022年 第1号では、パラローイング日本チームの大阪(1/14-16 府立漕艇センター)・長崎(1/27-30 本明川)での強化合宿をレポートします!

特集記事 パラローイング日本チーム1月大阪・長崎強化合宿をレポート

国際競争力強化のために競技人口拡大は必須であり、全国的な競技普及・施設の障がい者対応促進の意味も込めて、各ボート協会様・チョープロローイングクラブ様はじめ関係各位のご協力の下、大阪・長崎で強化合宿を行いました。大阪合宿では、障がい者向け体験乗艇会も併催しました。長崎合宿では、大久保諫早市長様はじめ県・市関係者、ボート関係者にも視察・激励いただきました。



↑府立漕艇センター@高石市で水上練習 坂口・森選手



↑府立漕艇センターでエルゴメーター指導 西岡選手



↑長居障がい者スポーツセンター@大阪市で筋力トレーニング



↑本明川コース@諫早市で水上練習 西岡・坂口選手



↑雲仙を背景にシングルスカルを漕ぐ森選手@本明川コース



↑エルゴメーター測定@チョープロ艇庫

お知らせ

スポーツ界でもSDGsに関心が高まっていますが、当委員会でもSDGsの取り組みをまとめました。ターゲット10.02をはじめ、5項目でSDGsに取り組んでいます。

ゴール	ターゲット	当方の取り組み	
3 すべての人に健康と福祉を	3.08 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成しよう	障がい者も水上スポーツにいそむことができる環境を整備する	24年度までにパラローイング種目練習可能な拠点を6か所に
4 質の高い教育をみんなに	4.07 SDGs 達成のために、必要な知識とスキルをみんなに	健全者ボランティアに障がい者と触れ合う機会を提供し、共生社会の気づきを	
6 安全な水とトイレを世界中に	6.B 地域の水を、地域で守れるようにしよう	ボートコースの水をきれいに保つ	22年度より、実施予定
10 人や国の不平等をなくそう	10.02 すべての国で、すべての人に、政治・経済・社会に参画する力を	パラスポーツを通じて、障がい者の地位向上を	パラリンピック・アジアパラ等の機会を通じ共生社会を訴求
11 住み続けられるまちづくりを	11.07 すべての人に、安心して利用できる緑地や公共スペースを	障がい者にやさしいボートコースづくりに貢献	相模湖・海の森水上競技場等障がい者に優しいコース改修の働きかけ

委員会活動情報

本号発行時点での活動予定につき、下記の通りお知らせいたします。コロナの状況で変更が生じる可能性がありますため予めご了承ください。

【直近の活動予定】

■強化練習/合宿

- ・2月12・26日
- ・2月4~6日、17~20日

強化練習/相模湖漕艇場
強化合宿/相模湖漕艇場

★乗艇体験会

- ・2月6日、3月6日

乗艇体験会/相模湖漕艇場

【2022年国際レース出場予定】

- 5月13~15日 国際パラローイングレガッタ/ イタリア・ガヴィラーテ
- 9月18~25日 世界選手権/チェコ・ラシチェ
- 10月10~12日 アジアパラゲームス ボート競技/中国・杭州